

# タイから第三国への食品輸出に関する調査(1) (カンボジア)

2026年2月

タイ輸出プラットフォーム

ジェトロバンコク事務所

## 目次

1. タイからカンボジアへの食品輸出金額の分析.....	3
(1)食品輸出総額 .....	3
(2)品目詳細.....	3
2.タイから食品輸入をするカンボジア業者の調査.....	6
(1) タイからの主な食品の輸入品 .....	6
(2) 海外から日本産食品の輸入実績 .....	7
(3) 日本産食品の今後の需要 .....	7
(4) アドバイス、要望 .....	8

# タイから周辺国への食品輸出に関する調査（1）カンボジア

本調査は、タイを経由して輸出可能な国の輸入業者の実態とニーズを把握し、今後のビジネスマッチングに活用することを目的とする。

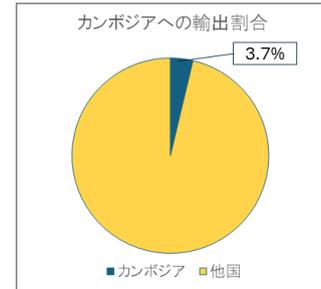
## 1. タイからカンボジアへの食品輸出金額の分析

### (1) 食品輸出総額

2024 年におけるタイからカンボジアへの食品輸出金額は 1,697.6 百万 USD。

(約 2,510 億円)[1ドル=148円 / 2025 年 7 月: google.finance]

タイの輸出額に占めるカンボジアの割合が 3.7%を占める。



2021 年のコロナ禍による一時的な減少を除き、近年は一貫して増加傾向にある。

	2019	2020	2021	2022	2023	2024
カンボジア	1,320.9	1,552.6	1,326.4	1,468.0	1,514.3	1,697.6

(Million USD)

### (2) 品目詳細

2024 年の輸出金額の TOP10 の品目は、以下のようにになっている。

No.1(精製白糖)、No.3(白糖)、No.4(乳製品)、No.5(植物性クリーミングパウダー)、No.10(すり身製品)の 5 品目は過去 3 年間で増加傾向にある。特に No.1(精製白糖)は対前年比で 146%の増加となっている。

No.	品目コード	単位	商品項目	2019*	2022	2023	2024	対前年比
1	17019910004	KG	精製白糖:分極度 99.8 ° Z 以上、色価 0~45 ICUMSA 単位(波長 420nm)	0	210.62	247.3	360.31	146%
2	22021020000	LT	エナジードリンク(炭酸の有無を問わず)	0	152.05	109.95	117.66	107%
3	17019990001	KG	白糖 1 級:分極度 99.50 ° Z 以上、色価 46~400 ICUMSA 単位(波長 420nm)	0	94.63	99.71	112.43	113%
4	22029910000	LT	フレーバー付き UHT(超高温殺菌)乳飲料	58.56	70.12	82.6	91.43	111%
5	21069030000	KG	植物性クリーミングパウダー(ノンデイリークリーム)	43.68	59.53	66.11	86.07	130%
6	22029950090	LT	その他の飲料	53.56	62.38	56.55	58.27	103%
7	19023040000	KG	その他の即席麺	58.13	52.23	47.05	48.37	103%
8	4012010000	KG	液状乳製品	40.28	37.41	30.05	39.57	132%
9	16010090000	KG	その他の食肉	13.24	27.19	39.7	39.46	99%
10	16042099001	KG	すり身製品	22.97	29.27	31.18	38.58	124%

(Million USD)

※統計に関する補足：2019年の実績が0の項目は、統計上のHSコード改訂や輸出ルートの正規化によるものです。本資料では、コロナ禍による一時的減少期間(2020-21年)を特殊要因として除外しており、平時(2019年)と現在(2022年以降)を比較することで、ポストコロナにおける「真の成長トレンド」を可視化しています。

11位～30位では、No.11(エキス、エッセンスまたは濃縮物をもととした調製品およびコーヒーをもととした調製品)の成長率が高い。

No.	品目コード	単位	商品項目	2019	2022	2023	2024	対前年比
11	21011292001	KG	エキス、エッセンスまたは濃縮物をもととした調製品およびコーヒーをもととした調製品	11.56	14.32	20.27	25.16	124%
12	22029920001	LT	豆乳飲料(牛乳を混合したもの)	23.92	31.05	32.29	24.61	76%
13	22029990090	LT	その他の飲料	295.46	47.29	29.5	23.82	81%
14	23099012000	KG	豚用の飼料に適したもの	14	27.81	38.89	22.54	58%
15	22030091000	LT	アルコール度数58%以下の酒類	0	11.66	18.34	21.38	117%
16	21039029000	KG	その他のソース	15.43	20	19.1	20.93	110%
17	22021030000	LT	香味付きの発泡性ミネラルウォーターまたは炭酸水	0	12.94	13.12	15.94	121%
18	15079020000	KG	精製・漂白・脱臭された大豆油(RBD大豆油)	0	6.97	12.52	15.63	125%
19	20099099000	KG	その他(果実・野菜の保存品など)	7.77	20.68	16.12	15.56	97%
20	19011020000	KG	品目0401～0404に該当する製品(例:乳製品を含む)	0	0.72	0.51	15.49	3037%
21	21011299001	KG	エキス、エッセンスまたは濃縮物をもととした調製品およびコーヒーをもととした調製品	4.13	4.93	7.88	14.1	179%
22	22019090000	LT	その他の飲料	3.36	12.76	12.75	12.42	97%
23	21039013002	KG	オイスターソース	8.03	9.85	10.78	12.07	112%
24	16023290000	KG	その他のソーセージ	1.75	8	5.43	10.17	187%
25	23099020000	KG	飼料用プレミックス、サプリメント、添加物	8.65	10.64	10.31	9.93	96%
26	22021090000	LT	その他の飲料	19.04	4.3	3.32	9.75	294%
27	7095100000	KG	ハラタケ属のキノコ(例:マッシュルーム)	0	0	6.87	9.21	134%
28	17049099090	KG	その他(例:糖類製品)	11.15	9.79	8.59	9.12	106%
29	23040029001	KG	飼料原料として適したもの	0	21.11	23.8	9.06	38%
30	15079090000	KG	その他の大豆油	9.94	28.24	10.12	8.57	85%

(Million USD)

31 位以下で特に成長している項目は以下の通り。特に No.40(冷凍イカ)や No.63(ドリアン)などが急成長しており、取引金額は小規模ながら注目に値する。

No.	品目コード	単位	商品項目	2019	2022	2023	2024	対前年比
32	21012090000	KG	その他のパン	5.86	4.51	7.4	8.42	114%
34	19059090000	KG	その他(例:焼き菓子、スナック類など)	7.63	7.08	8.01	8.23	103%
35	19021940000	KG	その他の麺類	0.05	6.18	7.18	8.15	114%
38	4014010000	KG	液体状の牛乳	5.56	5.09	6.78	7.2	106%
40	3074310003	KG	冷凍イカ	0.14	0.35	1.65	6.49	393%
47	22029940001	LT	コーヒー飲料またはコーヒー風味飲料(牛乳混合)	2.36	3.38	3.55	4.58	129%
49	16029090090	KG	その他(例:肉製品)	0.31	1.51	3.75	4.5	120%
52	21011291001	KG	インスタントコーヒー	1.35	1.56	4.03	4.35	108%
53	16041930000	KG	その他(小売用密封容器入り)	1.66	2.55	3.11	4.29	138%
54	21069093001	KG	ココナッツミルク(密封容器入り)	0	1.37	2.93	4.17	142%
57	16042099090	KG	その他(例:調理済み魚介類)	1.34	2.56	2.68	3.82	143%
62	19019099090	KG	その他の小麦粉など	4.28	3.21	3.32	3.56	107%
63	8106000001	KG	ドリアン	0	0.1	0.02	3.56	17800%
64	22030019000	LT	その他の酒類	2.72	4.53	3.33	3.47	104%
67	20099091001	KG	果汁ミックス	1.12	2.7	2.6	3.3	127%
73	21032000000	KG	トマトケチャップおよびその他のトマトソース	2	1.94	2.53	2.92	115%
76	23091010090	KG	その他の飼料	0.77	2.23	2.48	2.8	113%
77	3035910000	KG	インドサバ(Rastrelliger kanagurta)、島サバ(Rastrelliger faughni)	0.01	0.7	1.89	2.76	146%
78	11010019000	KG	その他(例:小麦粉)	2.19	2.17	2.53	2.66	105%
79	4041099000	KG	その他のホエイ(乳清)	0	0.92	2.21	2.64	119%
83	9024010001	KG	香味付き(例:香料付き紅茶など)	0.8	0.89	1.36	2.17	160%
87	21039012000	KG	魚醤	1.58	1.55	1.85	2.07	112%
89	20099091002	KG	野菜ジュースのミックス	0.03	0.56	1.62	2.01	124%
93	23066010000	KG	粉碎またはペレット状の飼料	0.27	0	1.2	1.85	154%
97	19019039000	KG	その他(例:穀物加工品)	0.59	0.76	1.3	1.83	141%
99	21011119000	KG	その他のコーヒー	0	1.24	1.67	1.81	108%
119	20089940090	KG	その他(例:果物・野菜の保存品)	0.8	1.16	1.22	1.13	93%
120	21069092000	KG	香味付きまたは着色されたシロップ	0.42	1.04	1.04	1.09	105%
127	22029940090	LT	その他(例:コーヒー風味飲料など)	0.65	0.65	0.81	0.9	111%

(Million USD)

## 2.タイから食品輸入をするカンボジア業者の調査

タイから食品輸入をするカンボジア業者3社から、日本産食品を含む輸入状況についての取材調査を実施した。

1	JAPAN TRADING 3S Co., Ltd.	取材日時 : 2025 年 7 月 18 日
事業概要	2024 年 8 月創業、日本食輸入販売事業を開始。 タイからの輸入を開始した直後に国境閉鎖となったため、現在は日本からが主となる。	
主な販売先	小売店 90%、レストラン 10%。 小売店への卸業者として、認知度もあがり、取引も増加している。 チップモングループ、ラッキースーパーマーケットグループ、ロイヤルマートといったカンボジアでも有数の大手スーパーが主な取引先。	

2	DAISHIN TRADING (CAMBODIA) CO.,LTD	取材日時: 2025 年 7 月 18 日
事業概要	2014 年開業。カンボジアでは 1000 以上の日本産食品、飲料品を販売。日本食レストラン開業に必要な食材をほぼ網羅して、起業支援も行う。また小売店向けに寿司、肉などの食品加工、製造販売を行う。	
主な販売先	日本食レストラン、小売店、二次卸業者(韓国系、欧米系卸業者)の他、一般消費者にも直販を行う。販売先は、カンボジア国内全域だが、自社でプノンペン、シェムリアップ、シハヌークビルに直販店をオープン。冷凍商品、肉加工、寿司などの製造販売を小売店向けに行っている。	

3	LOKA Japanese Foods & Beverage	取材日時 : 2025 年 7 月 23 日
事業概要	2013 年創業、カンボジアを拠点とする食品輸入卸事業の日系商社。 また同じ会社だが S.E.A.T.S Farm で農業生産開発事業を行いブランド名を使い分けている。	
主な販売先	レストラン、小売りが 90%、 残り 10%はホテル、一般消費者、オンラインセラー向け販売。	

### (1) タイからの主な食品の輸入品

カンボジア業者のタイからの食品輸入は、冷凍食品や飲料、調味料などが多い。

1	JAPAN TRADING 3S Co., Ltd.
輸入状況	シークワサーの素(ライムのなもの)、抹茶などの取引を 2025 年 4 月頃より開始したが、国境閉鎖のため現在は他国での取引先を調査中。

2	DAISHIN TRADING (CAMBODIA) CO.,LTD
輸入状況	加工済み冷凍食品から開始、タイ国内製造の輸入品もある 輸入品の多くはレストランへの卸で、一部商品が小売り業者向け。
輸入品目	「おーい、お茶」(伊藤園)、中華わかめ(ショウゲン)、冷凍海鮮、和牛、パン(マルナカ)、調味料等の他、かにかま、すし用イカ、ニシン、エビフライ、すし用エビ、餃子、たこ焼きなどを輸入。別途、アルコール入りカクテル系は、国境閉鎖となり再開未定。
輸入数量	伊藤園で 1 か月あたり約 15,000\$, 20ft コンテナ 1TEU。 冷凍食品は 1 か月あたり約 20,000\$, 20ft コンテナが半分~1TEU 程度。

3	LOKA Japanese Foods & Beverage
輸入状況	主にタイ国内で製造した商品とメーカーからの購入が多い。 卸業者との取引はあまり積極的には行っていない。
輸入品目	冷凍水産品(50%)、ベーカリー関連食品(20%)、調味料(20%)、その他(10%)程度
輸入数量	輸入頻度は、週1便程度で、他社と混載で小ロット(1回あたり数百キロ程度)での輸入を行う。

## (2) 海外から日本産食品の輸入実績

日本製の食品の輸入元は、日本、ベトナム、タイ、中国、マレーシアなどが多い。

1	JAPAN TRADING 3S Co., Ltd.
輸入先	現在は主として日本となる。
輸入商品	特選 3.6 北海道牛乳 イチゴ、チョコなどが主な商品となっている。

2	DAISHIN TRADING (CAMBODIA) CO.,LTD
輸入先	日本、ベトナム、シンガポール、中国、タイ、マレーシア
輸入商品	日本:SB、チョコヤ、マルコメ、日清、おたふく、大関、いいちこなど多数の商品を取り扱っており、1か月に100,000~150,000\$程度。

3	LOKA Japanese Foods & Beverage
輸入先	日本(60%)、ベトナムおよびタイ(30%)、マレーシア、中国、その他(10%)程度
輸入商品	日本からは主に日本酒の輸入。

## (3) 日本産食品の今後の需要

今後、抹茶、健康志向商品、サツマイモ、枝豆などのニーズの高まりが予想される。

水産品(ハマチ、いくら、ホタテ等)は供給確保が困難で、今後さらに厳しくなる可能性あり。

1	JAPAN TRADING 3S Co., Ltd.
需要動向	カンボジアは近隣諸国と比べて輸入品に対する規制が緩いため、商品の仕入れに関して困ることはない。日本と比べてタイから輸入するほうが安いことが多いため、輸送料を含めた金額次第で検討している。 今後ニーズが高まると考えられる商品は、 <b>抹茶</b> 、 <b>サツマイモ</b> 、 <b>枝豆</b> など。カンボジアの場合、タイで流行ったものが数年遅れで流行するという傾向がある

2	DAISHIN TRADING (CAMBODIA) CO.,LTD
需要動向	現在、インドネシアからの小麦粉の輸入を検討中。その他、製菓、製パン材料も検討中。 今後、ニーズが高まる商品は、 <b>抹茶</b> 、 <b>健康志向商品</b> 。

3	LOKA Japanese Foods & Beverage
需要動向	日本の水産品の輸入に関しては、懸念事項が多い。現在、日本の水産品は世界的に人気が出ており、カンボジアでもハマチ、いくら、ホタテなどの水産品は必要量が確保しづらいのが実情。

#### (4) アドバイス、要望

日本産品は信頼性が高く、きちんと説明すれば、高価格でも販売できる可能性は高い。

ベトナムからの輸入に比べて、タイからは国境での商品の積み替えや、運搬距離の関係で品質劣化に繋がりがやすい。また、コンテナ単位での仕入れとなるため、今後は小ロットでの注文にも対応できるようにしてほしい。

1	JAPAN TRADING 3S Co., Ltd.
アドバイス	日本産商品は、細かい商品説明をきちんと行い、他の製品との違いを説明すれば若干の値段差であれば売れる。タイとカンボジアでは日本に対する基礎知識が違うため、一步掘り下げた説明が必要である。
要望	生鮮食品は日本からタイ経由での輸入が多く、常温品は、タイ製造のものをカンボジアに輸入というのが、一般的な流れである。 ベトナムからだ国境での商品の積み替え作業が不要だが、タイからだバタンバン経由となり、輸送時間が長く、輸送時の振動などで品質劣化が激しい。(ベトナムと比べると2倍程度の輸送時間) 特に、冷凍品、冷蔵品全般は国境での積み替え作業で商品品質が下がり、ロスが出ることもある。

2	DAISHIN TRADING (CAMBODIA) CO.,LTD
アドバイス	日本語、英語併記のパッケージが望ましい。商品によってはクメール語もあればなお良い。 BtoC 向けの販売方法としては、バイクなどのプレゼントが当たるラッキードロー、若年層に効く SNS・インフルエンサー広告、サンプリングなどが効果的。
要望	原材料に比べ、加工品に対する高い関税設定が、輸入拡大の妨げとなっている。 仕入れはコンテナ単位となり、一度にある程度の量での発注が必要で、小ロットの輸入ができないのが輸送料の面での難点。 その他、タイ、カンボジア間の輸送では、国境での載せ替え作業があり、コストが上がる。また冷蔵、冷凍コンテナの場合、載せ替え時間によりクオリティが下がるという問題もある。スムーズな輸送システムの構築、もしくは載せ替えが不要となるようにしてほしい。

3	LOKA Japanese Foods & Beverage
要望	他国との差別化を考えるなら、小ロットの注文から対応できる柔軟性があれば、取引が開始しやすく、新商品などはチャレンジしやすい。 また、ロットが多い場合、Form D の作成サポートをしてほしい。

**注釈:** 本文中に記載された企業名・ブランド名は、各業者の取扱実績に基づく例示であり、調査者が特定の製品を推奨、またはその品質を保証するものではありません。

**備考** ※1 : Thailand's Trade Statistic Report System- EXPORT OF THAILAND CLASSIFIED BY COUNTRY にアクセス、<https://tradereport.moc.go.th/en/stat/reporthscodexport02>

【免責条項】本レポートで提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用下さい。JETROでは、できる限り正確な情報の提供を心掛けておりますが、本レポートで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、JETROおよび執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承下さい。

本資料に関する問い合わせ先：

日本貿易振興機構（JETRO）バンコク事務所

電話番号：66-2-253-6441

E-mail アドレス：ThaiPF\_Japanfood@jetro.go.jp